

岩川光 quena

岸本賢治 fretless guitar

相川瞳 vibraphone

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
 ※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 02月05日 (金)

開場 17:30

開演 18:00

(90分1ステージ 小休止有) (1drink=600円~)

予約 MC=4500円+2drinks order

当日 MC=4800円+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
 必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
 ご記載下さい。



岸本賢治

1991年10月7日静岡県生まれ、AB型。子供のころよりギターを通してブルース、クラシック、ロック等幅広い音楽に親しむ。20歳のころ、ジム・ホールの音楽に感銘を受けジャズを志す。これまでに直居隆雄氏、井上智氏、橋爪亮督氏などに師事。またアラブ古典音楽を常味裕司氏に師事。ZUJA Recordsより石川広行氏 (tp) との即興デュオアルバム、「Improvisations Vol.1&2」が好評発売中。日本ではめずらしいフレットレスギター奏者としても活動しており、アラブ古典音楽の要素を取り入れた自分なりの音楽を模索中。現在は自分で設計したオリジナルのダブルネックギターを用い、ジャンルに囚われない活動を続けている。

岩川光

独自の革新的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれるケーナ奏者。音楽の原始に近づくような音作りや、複雑でありながらダイレクトに琴線に触れる楽曲に定評のある作曲家。マルチインストルメント奏者。9歳よりケーナを始め、12歳より演奏活動に入る。同時期にモダン及びバロックのリコーダーを修め、10代には作曲や指揮法も学ぶ。こうした知見と技術を活かし、前人未到と評される独自のケーナ奏法を開拓、これまでの概念を覆す演奏を展開。南米・ヨーロッパを中心に音楽祭出演やツアー公演、ディノ・サルーン、故ハイメ・トーレスら世界的巨匠との共演、バロック・アンサンブル「カベラ・メディテラネア」のソリストとして参加したラジオ・フランスでの公演などを通じ、幅広い分野で国際的に高い評価を得る。録音作品も多く、その内容はバラエティに富み、国内外の専門誌で年間ベストに選出されるなど好評を博す。常に世界規模で複数のプロジェクトを展開。近年テレビや舞台の音楽録音を通じ、日本のお茶の間でもその音を耳にする機会が増えている。現代の作曲家との協働、古代楽器の演奏復元、製作者として新モデルの開発など、その活動は多岐にわたる。また南米を中心にマスタークラスの開講も多い。コロナ禍においても意欲的な制作を続け、録音作品を次々と発表。2013年よりブエノスアイレス在住。

<https://hikalucas.wixsite.com/hikariuwakawa>

相川瞳

2006年、東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。幼少よりピアノ、中学高校は東邦音楽大附属のピアノ科在籍。16歳より本格的に打楽器を学ぶ。ブルガリアで開催されたプロヴディフ国際打楽器コンクール DUO 部門にて2位入賞。(1位なし) 2013年大晦日、「大友良英 with あまちゃんスペシャルビッグバンド」のメンバーとして、NHK 紅白歌合戦に出演。2017年6月、NHK-FM『リサイタル・ノヴァ』にソリストとして出演。2019年6月、島根県立岩見美術館グラントフにてリズム、打楽器のワークショップを行う。坂東玉三郎、岩城滉一、椎名林檎、渡辺えり、Flower、真琴つばさ、大鳥れい、涼風真世、姿月あさと、蘭寿とむらのレコーディング、舞台、アーティストサポート、ミュージカル、現代音楽、などの活動を展開する他、作曲、編曲、ピアノ伴奏なども手がける。ジャンルを問わず、マルチな女性パーカッショニストとして活動中である。